メール通知設定手順

メール通知設定機能を使用すれば、TeraStation の状態の定期報告や、異常が発生した際のお知らせをメールで送信することができます。

Note: TeraStation の異常に気づかないまま運用すると、データを失う恐れがあります。必ずメール通知設定機能でメール送信するように設定し、異常があった際にはすぐに対処できるようにしてください。

1 お使いのパソコンで付属の NAS Navigator2 の右クリックメニューから [リモートデスクトップを開く] を選択し、Windows Storage Server の画面を表示させます。

2 Windows Storage Server 上で [スタート]-[すべてのプログラム]-[BUFFALO]-[メール通知設定]-[メール通知設定] をクリックします。
メール通知設定画面が表示されます。

3 [メール通知を有効にする] のチェックボックスをクリックし、チェックマークをつけます。

4 宛先メールアドレスの [新規] をクリックし、送信先メールアドレスを入力します。最大 5 つのアドレスまで送信できます。

Note: 誤ったメールアドレスを入力しないようご注意ください。

5 SMTP サーバーアドレス、SMTP ポート番号を入力します。

6 ユーザー認証方式（使用しない /pop before smtp/login（SMTP-AUTH）/cram-md5（SMTP-AUTH））を選択し、ユーザー名、パスワードを入力します。

Note: ・pop before smtp を使用しているときは、POP3 サーバーアドレス、POP3 ポート番号を入力します。
・パスワードに　'(シングルクォーテーション) を使用することはできません。

7 保護された接続を使用する場合、その方式（SSL/TLS）を選択します。

8 通知メールの件名を入力します。

Note: 半角英数字にしてください。それ以外では文字化けすることがあります。

9 通知内容を選択します。

[定期報告] では選択した時刻に TeraStation の報告をメール送信します。
[HDD に異常が発生したとき] では TeraStation のハードディスクに異常が発生した時に送信します。
[起動・再起動したとき] ではシステムの起動、再起動時に送信します。
[ファンに異常が発生した時] では TeraStation のファンに異常が発生した時に送信します。
[イベント ID を指定] では、任意のイベント ID を指定することができます。

Note: TeraStation のバックアップ機能やレプリケーション機能のエラーをメールで通知するには、イベント ID を指定する必要があります。イベント ID の指定については、次ページをご参照ください。

10 [適用] をクリックします。

以上でメール通知機能の設定は完了です。

イベント ID の指定について

メール通知設定機能でイベント ID を指定すれば､特定の異常が発生した際にメールで知ることができます。バックアップ機能やレプリケーション機能を使用しているときは、必ず設定してください。

Note: TeraStation の異常に気づかないまま運用すると、データを失う恐れがあります。必ずメール通知設定機能でメール送信するように設定し、異常があった際にはすぐに対処できるようにしてください。

バックアップ機能を使用する場合、バックアップのイベント ID を指定します。

●バックアップのイベント ID 指定

1 メール通知設定画面で [イベント ID を指定] をクリックし、チェックマークをつけます。

2 [通知内容] 内の [新規] をクリックします。

3 [ログ種] のプルダウンメニューから [Application] を選択します。

4 [ソース] に「BackupTaskSync」と入力します。

5 [イベント ID] にイベント ID を入力します。

Note: イベント ID については、次の表をご参照ください。通信エラーのイベント ID は必ず指定してください。

■バックアップのイベント ID(通信エラー)

イベント ID	種類	意味
0000	エラー	バックアップの実行中、送信元のフォルダーが見つかりませんでした。
0003	エラー	バックアップの実行中、送信先への接続に失敗しました。
0004	エラー	バックアップ中に、タイムアウトが発生しました。
0005	エラー	設定しているパスワードで、送信先への接続に失敗しました。
0006	エラー	バックアップの送信先が発見できませんでした。
0017	エラー	バックアップ中に接続が切断されました。
0022	エラー	検索に失敗しました。(Discover)
0023	エラー	検索に失敗しました。(Share)

■バックアップのイベント ID(その他のエラー)

イベント ID	種類	意味
0001	警告	バックアップの実行中、送信元のファイルが送信中で削除されていて送信できませんでした。
0002	警告	バックアップの実行中、送信元のファイルがロックされていて送信に失敗しました。
0007	エラー	バックアップスケジュールリストに実行中のタスク名が設定されていませんでした。
0008	エラー	バックアップタスクエラーリストの読み込みに失敗しました。
0009	エラー	パスワードファイルの読み込みに失敗しました。
0010	エラー	バックアップタスクエラーリストの書き込みに失敗しました。
0011	エラー	パスワードファイルへのアクセスに失敗しました。
0012	エラー	送信元にネットワーク IP が設定されていました。
0013	エラー	rsync.exe が見つかりませんでした。
0014	エラー	rsfwdc.exe が見つかりませんでした。
0015	エラー	実行用コマンドの生成に失敗しました。
0016	エラー	rsync.exe の起動に失敗しました。
0018	エラー	古いログファイルの作成に失敗しました。
0019	エラー	バックアップタスクリストファイルが壊れていました。

0020	エラー	バックアップタスクリストファイルを開くのに失敗しました。
0021	エラー	送信先でバックアップフォルダーに設定されているフォルダーが削除されていました。
0024	エラー	転送先の検索に失敗しました。
0025	エラー	バックアップタスクリストファイルからタスク名を発見できませんでした。
0026	エラー	バックアップタスクリストファイル内の F_cnt の読み込みに失敗しました。
0027	エラー	バックアップタスクリストファイル内の No の読み込みに失敗しました。
0028	エラー	バックアップタスクリストファイル内の No の値が制限値を超えています。
0029	エラー	バックアップタスクリストファイル内の Mode の読み込みに失敗しました。
0030	エラー	バックアップタスクリストファイル内の Mode が意図しない値でした。
0031	エラー	バックアップタスクリストファイル内の I_Folder の読み込みに失敗しました。
0032	エラー	バックアップタスクリストファイル内の O_Folder の読み込みに失敗しました。
0033	エラー	バックアップタスクリストファイルが壊れています。
0034	エラー	設定ファイルの書き込みに失敗しました。
0035	エラー	設定ファイルの書き込みに失敗しました。
4000	エラー	設定ファイルの構成に異常があります。
4001	エラー	設定ファイルの読み込みに失敗しました。
4002	エラー	設定ファイルを開くことができませんでした。

6 ［適用] をクリックします。

以上でバックアップのイベント ID の指定は完了です。

レプリケーション機能を使用する場合、レプリケーション同期中のイベント ID と再同期中のイベント ID を指定します。

●レプリケーション機能で同期中のイベント ID 指定

1 メール通知設定画面で [イベント ID を指定] をクリックし、チェックマークをつけます。

2 [通知内容] 内の [新規] をクリックします。

3 [ログ種] のプルダウンメニューから [Application] を選択します。

4 [ソース] に「Replication」と入力します。

5 [イベント ID] にイベント ID を入力します。

Note: イベント ID については、次の表をご参照ください。通信エラーのイベント ID は必ず指定してください。

■レプリケーション機能で同期中のイベント ID(通信エラー)

イベント ID	種類	意味
1000	エラー	レプリケーション中、送信元のフォルダーが見つかりませんでした。
1003	エラー	レプリケーション中に送信先への接続に失敗しました。
1004	エラー	レプリケーション中、タイムアウトが発生しました。
1005	エラー	設定しているパスワードで、送信先への接続に失敗しました。
1006	エラー	レプリケーションの送信先が発見できませんでした。
1017	エラー	レプリケーション中に接続が切断されました。
1026	エラー	検索に失敗しました。(Discover)
1027	エラー	検索に失敗しました。(Share)

■レプリケーション機能で同期中のイベント ID(その他のエラー)

イベント ID	種類	意味
1001	警告	レプリケーション中、送信元のファイルが送信中に削除されていたため送信できませんでした。
1002	警告	レプリケーション中、送信元のファイルがロックされていて送信に失敗しました。
1007	エラー	レプリケーションの初期化に失敗しました。
1008	警告	レプリケーション管理ログの読み込みに失敗しました。失敗したレプリケーション対象は不明です。
1009	エラー	以下のフォルダーのレプリケーションが失敗しています。
1011	エラー	送信元にネットワーク IP が設定されていました。
1012	エラー	レプリケーションリストファイルが壊れていました。
1013	エラー	レプリケーションリストファイルを開くのに失敗しました。
1014	エラー	rsync.exe が見つかりませんでした。
1015	エラー	実行用コマンドの生成に失敗しました。
1016	エラー	rsync.exe の起動に失敗しました。
1018	エラー	設定ファイルの書き込みに失敗しました。
1019	エラー	終了時にエラーが発生したため、強制終了しました。
1020	エラー	送信先でバックアップフォルダーに設定されているフォルダーが削除されていました。
1021	エラー	レプリケーションファイル内の No の読み込みに失敗しました。
1022	エラー	レプリケーションファイル内の Mode の読み込みに失敗しました。
1023	エラー	レプリケーションファイル内の Mode が意図しない値でした。
1024	エラー	レプリケーションファイル内の I_Folder の読み込みに失敗しました。
1025	エラー	レプリケーションファイル内の O_Folder の読み込みに失敗しました。
1028	エラー	転送先の検索に失敗しました。
1029	エラー	設定ファイルの書き込みに失敗しました。
1030	エラー	終了時にエラーが発生したため、強制終了しました。
1031	エラー	レプリケーションファイル内の No に設定されている値が制限値を超えています。
1032	警告	レプリケーション管理ログファイルが壊れていました。
1033	警告	レプリケーション管理ログファイルが意図しない変更がされていました。
3000	エラー	レプリケーションのフォルダー監視システムに異常が発生しました。
3001	警告	レプリケーション対象として設定するフォルダーパスが存在しません。
3002	警告	レプリケーション対象とし設定されていないフォルダーがキューイングされました。
3003	エラー	ファイルシステムウォッチャーの設定に失敗しました。
3004	エラー	アプリケーションが保存されているフォルダーの読み込みに失敗しました。
3005	エラー	レプリケーション除外定義ファイルが見つかりませんでした。
3006	エラー	レプリケーション除外定義ファイルが壊れています。
3007	エラー	レプリケーション除外定義ファイルが開けませんでした。
4000	エラー	設定ファイルの構成に異常があります。
4001	エラー	設定ファイルの読み込みに失敗しました。
4002	エラー	設定ファイルを開くことができませんでした。

6 [適用] をクリックします。

以上でレプリケーション機能同期中のイベント ID の指定は完了です。

●レプリケーション機能で再同期中のイベント ID 指定

1 メール通知設定画面で [イベント ID を指定] をクリックし、チェックマークをつけます。

2 [通知内容] 内の [新規] をクリックします。

3 [ログ種] のプルダウンメニューから [Application] を選択します。

4 [ソース] に「TeraSync」と入力します。

5 [イベント ID] にイベント ID を入力します。

Note: イベント ID については、次の表をご参照ください。通信エラーのイベント ID は必ず指定してください。

■レプリケーション機能で再同期中のイベント ID(通信エラー)

イベント ID	種類	意味
1003	エラー	レプリケーション中に送信先への接続に失敗しました。
1004	エラー	レプリケーション中、タイムアウトが発生しました。
1005	エラー	設定しているパスワードで、送信先への接続に失敗しました。
1017	エラー	レプリケーション中に接続が切断されました。

■レプリケーション機能で再同期中のイベント ID(その他のエラー)

イベント ID	種類	意味
1001	警告	レプリケーション中、送信元のファイルが送信中に削除されていたため送信できませんでした。
1002	警告	レプリケーション中、送信元のファイルがロックされていて送信に失敗しました。
1020	エラー	送信先でバックアップフォルダーに設定されているフォルダーが削除されていました。
4000	エラー	設定ファイルに異常があります。
4001	エラー	設定ファイルの読み込みに失敗しました。
4002	エラー	設定ファイルを開くことができませんでした。

6 [適用] をクリックします。

以上でレプリケーション機能再同期中のイベント ID の指定は完了です。